



多彩な「はばたき文化」の創造

教頭 大澤 充

荒川にはハクチョウが飛来し、元気な姿をみせています。校舎から見える群馬県の山々の頂は雪をかぶり、自転車通学の生徒の吐く息は真っ白です。それでも、風のない日の陽光は、校舎に降り注ぎ、学校を温かく包んでくれています。

9月に始まった2学期も本日終業式を迎えました。充実した学校生活を送った児童生徒一人一人は満足感と充実感に満ち、大きく成長しています。

日頃の学習の成果を存分に発揮できる各種行事がある2学期、修学旅行や宿泊学習、遠足など、事前学習の積み重ねが本番に花開くものとなりました。また、本校最大のイベントである「メロンフェスティバル（文化祭）」では、1300名を超える来場者があり、児童生徒の活躍に保護者や地域関係者の皆様から大きな拍手をいただきました。

さて、次期学習指導要領の改定のキーワードの一つに「社会に開かれた教育課程」があります。教育内容や指導支援の充実はもちろんですが、学校は地域と連携し、協力しながら児童生徒を成長させることが求められています。本校ではその具現化のために、「地域支援・地域貢献の推進」を学校グランドデザインの一つに掲げ、①PTA地域支援部と連携した地域保護者向け研修会 ②就学前からの相談支援事業「親子教室」の実施 ③学校ホームページの更新の即時性を高める校内体制の整備による情報発信 ④地域の各機関への清掃奉仕活動や販売活動の積極的な取組などを行ってきました。文化祭に限らず、学校公開週間での見学者や学校視察者も年々増加したこと、後援会組織も拡大充実したことからも、この地域支援・地域貢献活動が認められたものと確信しています。開校7年目を迎え七色の虹のごとく、はばたき文化が花咲き、発展から創造へ向かっています。

充実した2学期の一つ一つの活動が児童生徒の笑顔と自信に結びつくとともに、学校としても着実に成長ができました。これも保護者の皆様のご理解とご協力はもちろん、後援会、地域の皆様、各関係機関のお力添えの賜物です。

結びに、今学期の本校の教育活動にご支援、ご協力をいただき大変ありがとうございました。保護者の皆様が、良いお年を迎えられることを心からお祈り申し上げます。

